

2025年2月7日

各位

三菱UFJ信託銀行株式会社

**Forbes JAPAN 「『日本のインパクト・エコノミーの未来』を創る100人」に
当社社員2名が選出されました**

グローバルビジネス誌「Forbes JAPAN」2025年3月号（2025年1月24日発売）に掲載された特集「『日本のインパクト・エコノミーの未来』を創る100人」に、三菱UFJ信託銀行株式会社（以下「当社」）の加藤正裕、道脇祐介の2名が選出されました。本特集では、社会課題解決と成長を両立し、ポジティブな影響（インパクト）を社会に与えることを目指す100人の人材が紹介されています。

当社から選出された2名は、国内上場株式インパクト投資ファンドへの取り組みや、インパクト投資に関連する各種イニシアティブなどへの貢献、一般財団法人 社会変革推進財団（SIIF）とのシステムチェンジ投資に関する研究などの活動が社外からも評価された結果、選出となりました。

当社は、サステナビリティの観点を考慮したサステナブル投資に長年にわたり取り組んできました。今回のインパクト投資においても、実際の投資活動を通じて、長期的な投資リターンを獲得に加えて、社会・環境課題の解決に貢献し、「安心・豊かな社会」の実現を目指してまいります。

➤ 加藤正裕（サステナブルインベストメント部 フェロー）



国内外の運用関連部署でアナリスト、ファンドマネージャー業務を担当後、2005年から責任投資に従事。新商品開発や、議決権行使、エンゲージメント実務にも携わり、近年は世界のESG・投資家動向調査などをロンドンで担当。2023年4月より現職。

- ・ISSB(国際サステナビリティ基準審議会)投資アドバイザリーグループ
- ・インパクト志向金融宣言 運営委員会
- ・30%クラブジャパン・インベスターグループ・ボードメンバーなどに就任。

➤ 道脇祐介（資産運用部 シニアファンドマネージャー）



議決権行使、ESG調査、国内株式アナリスト・ファンドマネージャー業務を経て、2021年4月より現職。当社インパクト投資ファンドの運用に従事しているメンバーの一人であり、加藤とともに、GIIN(Global Impact Investing Network)等のイニシアチブ活動にも参画。講演・執筆活動実績も幅広く行い、日本における上場株式インパクト投資の普及に貢献。

【ご参考】当社のインパクト投資ファンドに係る主な取り組み

- ・2024年6月 上場企業の意識・行動変容を促すシステムチェンジ投資に関する研究の開始について
https://www.tr.mufg.jp/ippan/release/pdf_mutb/240619_1.pdf
- ・2022年2月 環境省「グリーンファイナンスモデル事例創出事業」における 弊社インパクト投資型ファンドの選定について
https://www.tr.mufg.jp/ippan/release/pdf_mutb/220218_1.pdf